

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月14日
【四半期会計期間】	第32期第1四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	株式会社タウンニュース社
【英訳名】	TOWNNEWS-SHA CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 宇山 知成
【本店の所在の場所】	神奈川県秦野市曾屋668番地
【電話番号】	0463（82）3331（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員経営管理部長 田中 昌克
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市青葉区荏田西二丁目1番3号
【電話番号】	045（913）4111（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員経営管理部長 田中 昌克
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第31期 第1四半期 累計期間	第32期 第1四半期 累計期間	第31期
会計期間	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日	自平成22年 7月1日 至平成23年 6月30日
売上高(千円)	733,567	824,338	3,063,704
経常利益(千円)	70,825	127,101	324,122
四半期(当期)純利益(千円)	32,745	70,985	177,922
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金(千円)	501,375	501,375	501,375
発行済株式総数(株)	5,575,320	5,575,320	5,575,320
純資産額(千円)	1,953,468	2,114,408	2,098,629
総資産額(千円)	2,560,327	2,782,219	2,793,176
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	5.93	12.86	32.22
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	-	10.00
自己資本比率(%)	76.3	76.0	75.1

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため記載しておりません。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要やサプライチェーン復旧による企業の生産力の回復、消費者マインドの改善など景気回復の兆しが見られましたが、一方では欧州の債務問題に伴う金融不安や欧米経済の減速、歴史的な円高の進行など、景気の先行きは、依然不透明な状況にあります。

当社が属するフリーペーパー業界におきましては、インターネット広告が好調を維持する中で、媒体の選別化や淘汰が進み、価格競争も激化しており、依然厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社は今年7月から横浜市の「金沢区版」及び「保土ヶ谷区版」を隔週発行から毎週発行に移行し、発行頻度を増加させるとともに、同じく7月から「海老名・綾瀬版」を「海老名版」と「綾瀬版」に、「厚木・愛川・清川版」を「厚木版」と「愛川・清川版」にそれぞれ分離独立させ、既存版の更なる深耕を進めました。また、引き続き「Web版タウンニュース」の販売も積極的に推進しました。

これらの施策の結果、観光・レジャー分野や飲食業関連業種でやや受注が減少したものの、建設・医療・サービス業関連などを中心に全般的に受注が堅調に推移し、また「Web版タウンニュース」の受注も堅調に増加し、タウンニュース全体の売上を拡大することができました。

利益につきましては、売上が順調だったことから、営業利益・経常利益・四半期純利益ともに、前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高824百万円（前年同期比12.4%増）、営業利益125百万円（前年同期比84.2%増）、経常利益127百万円（前年同期比79.5%増）、四半期純利益70百万円（前年同期比116.8%増）となりました。

(2)財政状態の分析

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ10百万円減少し、2,782百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が48百万円、その他流動資産が12百万円、投資その他の資産が133百万円増加したものの、現金及び預金が198百万円減少したためであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は前事業年度末に比べ26百万円減少し、667百万円となりました。これは主に、賞与引当金が44百万円増加したものの、未払法人税等が34百万円、その他流動負債が35百万円減少したためであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ15百万円増加し、2,114百万円となりました。これは利益剰余金の増加によるものであります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,034,000
計	12,034,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数 (株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,575,320	5,575,320	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	5,575,320	5,575,320	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	-	5,575,320	-	501,375	-	481,670

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 54,600	-	単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,519,600	55,196	同上
単元未満株式	普通株式 1,120	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	5,575,320	-	-
総株主の議決権	-	55,196	-

(注)単元未満株式には当社所有の自己株式86株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社 タウンニュース社	神奈川県秦野市 首屋668番地	54,600	-	54,600	0.97
計	-	54,600	-	54,600	0.97

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び当第1四半期累計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,117,737	918,822
受取手形及び売掛金	250,382	298,878
仕掛品	6,729	3,527
原材料及び貯蔵品	286	263
その他	61,661	73,659
貸倒引当金	6,263	5,678
流動資産合計	1,430,534	1,289,472
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	233,259	230,210
土地	449,341	449,341
その他(純額)	54,943	55,398
有形固定資産合計	737,544	734,950
無形固定資産	45,962	45,046
投資その他の資産		
投資有価証券	219,313	318,985
その他	373,570	407,229
貸倒引当金	13,748	13,465
投資その他の資産合計	579,135	712,749
固定資産合計	1,362,641	1,492,746
資産合計	2,793,176	2,782,219
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	74,123	69,585
未払法人税等	104,716	69,828
賞与引当金	23,356	67,872
その他	189,734	153,783
流動負債合計	391,930	361,069
固定負債		
長期未払金	100,528	100,528
退職給付引当金	202,088	206,213
固定負債合計	302,616	306,741
負債合計	694,547	667,811

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	501,375	501,375
資本剰余金	481,670	481,670
利益剰余金	1,130,032	1,145,811
自己株式	14,449	14,449
株主資本合計	2,098,629	2,114,408
純資産合計	2,098,629	2,114,408
負債純資産合計	2,793,176	2,782,219

(2)【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	733,567	824,338
売上原価	280,926	304,322
売上総利益	452,640	520,016
販売費及び一般管理費	384,510	394,532
営業利益	68,130	125,483
営業外収益		
受取利息	718	802
助成金収入	600	-
その他	1,376	815
営業外収益合計	2,695	1,618
経常利益	70,825	127,101
特別損失		
固定資産売却損	54	114
退職特別加算金	8,600	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,934	-
特別損失合計	11,588	114
税引前四半期純利益	59,236	126,987
法人税、住民税及び事業税	35,148	68,589
法人税等調整額	8,657	12,587
法人税等合計	26,491	56,001
四半期純利益	32,745	70,985

【追加情報】

当第1四半期累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
減価償却費	10,008千円	12,447千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年9月24日 定時株主総会	普通株式	55,207	10	平成22年6月30日	平成22年9月27日	利益剰余金

当第1四半期累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年9月27日 定時株主総会	普通株式	55,206	10	平成23年6月30日	平成23年9月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

前第1四半期累計期間(自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)及び当第1四半期累計期間(自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)

【セグメント情報】

当社はタウンニュース事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	5円93銭	12円86銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	32,745	70,985
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	32,745	70,985
普通株式の期中平均株式数(株)	5,520,720	5,520,634

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月4日

株式会社タウンニュース社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 水上 亮比呂 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石上 卓哉 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社タウンニュース社の平成23年7月1日から平成24年6月30日までの第32期事業年度の第1四半期会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社タウンニュース社の平成23年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。